

チーム 中部

愛知

岐阜・石川

三重・福井

静岡・富山

平成 19 年 5 月 25 日 No.2007-1
社団法人 日本放射線技術学会
中部部会

事務局：〒920-0942

金沢市小立野 5-11-80

金沢大学大学院

医学系研究科保健学専攻内

TEL・FAX 076-265-2541

URL <http://jsrttb.met.nagoya-u.ac.jp/>

巻頭言

専門技師制度のあり方と病院組織への貢献

中部部会 部会長 福井大学医学部附属病院 東村享治

新たな年度を迎えて、中部部会では会員の皆さんにもより満足いただけるような充実した部会活動を行いたいと考えています。特に今年度は、中部部会活動をお知らせするホームページの充実や日常に役立つ臨床セミナー等の講演会を部会主催で幾つか企画し、多くの会員の方にご出席いただけるように準備しております。例えば、6月30日(土)アクトシティ浜松で急性期脳梗塞の治療最前線とがん医療の取り組みをテーマとした「先端医療学術セミナー」や7月7日(土)金沢で明日から役立つ画像診断と治療(婦人科領域)のテーマで「北陸ブロック研修会」、11月10日(土)-11日(日)アクトシティ浜松コンgresセンターで第42回中部部会(竹田浩康開催委員長)を開催します。又、来年2月頃に名古屋で「医療安全セミナー」を本部の医療安全対策小委員会と合同で現在企画中です。

さらに今年度は、10月25日(木)-27日(土)に名古屋市国際会議場で第35回秋季学術大会(津坂昌利大会長)が開催されますので、中部部会としても全面的にバックアップしたいと思いますので、中部会員の皆様にもぜひご協力ください。

ところで、現在技術学会が進めている専門技師の目的は、高い専門技術を標準化して、医療に貢献できる技術者を輩出することです。これは専門的な技術を有する人の経験や知恵等を共有し、技術者を育てるものです。専門技師制度のあり方は、第一段階としては各分野でより高い専門技術を身につけた技師の育成ですが、実際に多くの分野から専門技師が出た時にそれらすべて臨床現場で貢献されるかという疑問があります。そのためにはいくつかの関連した専門技師を連携した構想で専門技師認定制度を考えていく必要があります。その構想が、技術学会が進めている指導者的な立場の技術者Super technologistです。中部部会には、そのような指導的な立場に立てる技師の方が多くいますので、ぜひ今後の展開においてお力をお貸しください。ただ、技師卒業教育には認定機構を立ち上げるべき専門技師と日々現場において行うべき教育とがあります。すべての技師教育を外部の認定機構に頼るのではなく、現場で教育して若い技師を育てる仕組みや標準化した技術を共有することが大切です。それらのことを整理して専門技師認定制度が真に病院に貢献し、社会的期待に応えるべく役割を果たせるものにしたいものです。中部部会としても現場での技師教育体制をサポートできるような活動や患者に有益でかつ医療の向上に寄与する技術の発展をめざした活動を行いますので、ぜひ会員の皆様にも中部部会の活動にご支援とご協力をお願いします。

会告

(社)日本放射線技術学会中部部会
部会長 東村享治

第8回日本放射線技術学会中部部会 ブロック研修会

明日から役立つ画像診断と治療(シリーズ7:骨盤(婦人科領域))

今回は婦人科の骨盤領域について、診察室から画像診断～治療にいたる過程を婦人科専門医と放射線専門医の立場から臨床の第一線で御活躍されているお二人の先生にご講演いただき、臨床と画像について理解を深めると共に、骨盤(婦人科領域)の疾患について各モダリティが果たす役割と技術に関するシンポジウムと討論会を開催いたします。会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成19年7月7日(土) 14:00～17:30

場所：石川県立中央病院 健康教育館

参加費：会員：無料 非会員：1,000円

【プログラム】

- 「教育講演」 14:05～16:05 座長：嘉戸祥介(富山大学附属病院)
- 14:05～15:05 「婦人科疾患 診察から治療の現状」
中野 隆先生(富山県立中央病院 産婦人科部長)
- 15:05～16:05 「婦人科領域のFDG-PET診断」
渡邊直人先生(富山大学附属病院病院 准教授)
- 「シンポジウム」 16:15～17:30 座長：森 光一(富山大学附属病院)
- 16:10～17:10 発表 RI: 川淵 安寿(金沢市立病院 中央診療部放射線室)
Angio: 木津 寛人(金沢大学医学部附属病院 放射線部)
CT: 奥村 悠祐(石川県済生会金沢病院 放射線部)
MR: 嶋 剛(砺波総合病院 放射線部)
治療: 山下 修(金沢医科大学病院 中央放射線部)
- 17:10～17:30 討論

会告

第 1 回中部部会先端医療学術セミナー開催

(社)日本放射線技術学会中部部会主催，第 1 回中部部会先端医療学術セミナーを下記のごとく開催致します。今回のセミナーでは，Time is brain と言われるように時間との勝負である急性期脳梗塞治療を中心とした現場での救急体制に関する話題，および本年 4 月 1 日施行の「がん対策基本法」により，関連団体のみならず放射線治療に携わる技師あるいは施設においても今後対応が必要となる話題をテーマとしました。多数の会員の皆様の参加をお待ちしています。

日 時：2007 年 6 月 30 日（土） 14:00～17:30

会 場：アクトシティ浜松研修交流センター 62 研修交流室

〒430 - 7790 静岡県浜松市中区板屋町 111 - 1

電話 053(451)1111 URL <http://www.actcity.jp/>

（会場周辺地図は、第 42 回中部部会学術大会開催案内をご覧ください。）

テーマ（1）急性期脳梗塞治療の最前線

特別講演.1 司会 浜松医科大学附属病院 坂本眞次

『脳卒中急性期治療の実態と今後』

徳島大学医学部診療放射線技術学講座教授 原田 雅史先生

技術講演.1 司会 浜松医科大学附属病院 竹田浩康

『急性期脳卒中における技師の 24 時間体制とは』

虎の門病院放射線部 高橋 順士先生

技術講演.2

『救急医療における MRI 検査の現状と問題点』

新城市民病院診療支援部 安形 司先生

テーマ（2）がん医療における今後の取り組み

特別講演.1 司会 静岡県立静岡がんセンター 半村勝浩

『がん診療連携拠点病院とがん専門放射線技師の役割』

国立がんセンター中央病院 小高 喜久雄先生

問い合わせ先：福井大学医学部附属病院 東村享治

電話 0776(61)8467 直通 Email jsrtcb@mhs.mp.kanazawa-u.ac.jp

会告

(社)日本放射線技術学会中部部会

部会長 東村享治

開催委員長 竹田浩康

共催:(社)静岡県放射線技師会

第42回中部部会学術大会 開催のご案内

(社)日本放射線技術学会第42回中部部会研究発表会を下記の要領にて開催いたします。多数の会員の皆様をご参加下さいますようお願い申し上げます。なお詳細、演題募集については8月末頃、次号のビーム中部にてご案内いたします。

日時:平成19年11月10日(土),11日(日)

会場:アクトシティ浜松コンgresセンター

静岡県浜松市中区板屋町111-1

(JR浜松駅より徒歩5分)

:053(451)1111

URL <http://www.actcity.jp/>

問い合わせ先

浜松医科大学医学部附属病院

竹田浩康

TEL 053(435)2670

takeda-ham@umin.net

【開催スケジュール】



		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
11月10日	参加登録	各研究会			ランチ セッション1	開会式	会員研究発表		部会年会	ワークショップ	1 特別講演	懇親会
11月11日	モーニングセッション	会員研究発表会		特別講演2	ランチ セッション2	会員研究発表		閉会式				

訂正

平成 19 年 3 月に発行した中部部会誌 収支予算書（案）に誤りがありましたので訂正いたします。

平成 19 年 3 月 1 日から平成 20 年 2 月末日まで

（単位：円）

	大科目 中科目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考	
・ 収入の部	1. 部会費収入	5,300,000	5,300,000	0		
	部会員通常会費収入	4,800,000	4,800,000	0		
	特別会費収入	500,000	500,000	0	部会学術集会参加 登録費	
	2. 事業収入	1,000,000	1,000,000	0		
	研修会受講料収入	0	0	0	各種研修会受講料	
	広告費収入	1,000,000	1,000,000	0	部会誌広告掲載料	
	3. 本部交付金収入	1,660,000	1,660,000	0		
	部会助成金	1,660,000	1,660,000	0	本部よりの助成金	
	4. 補助金等収入	0	0	0		
	地方公共団体補助金収入	0	0	0		
	民間補助金収入	0	0	0		
	5. 雑収入	2,000	2,000	0		
	受取利息	1,000	1,000	0		
	雑収入	1,000	1,000	0		
	6. 特定預金取崩収入	0	0	0		
	当 期 収 入 合 計 (A)		7,962,000	7,962,000	0	
	前 期 繰 越 収 支 差 額		8,984,035	8,410,048	573,987	
	収 入 合 計 (B)		16,946,035	16,372,048	573,987	

	大科目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
	中科目				
	小科目				
. 支出の部	1. 事業費	5,935,000	5,585,000	350,000	
	部会学術集会費	1,575,000	1,065,000	510,000	
	準備費	300,000	300,000	0	
	開催費	1,200,000	700,000	500,000	
	表彰費	55,000	45,000	10,000	
	ﾌﾞﾗﾝｸﾞ委員会費	20,000	20,000	0	
	研究発表会費	800,000	600,000	200,000	
	準備費	200,000	100,000	100,000	
	開催費	600,000	500,000	100,000	
	ﾌﾞﾗﾝｸﾞ委員会費	0	0	0	
	調査研究会費	1,350,000	1,350,000	0	
	MR 研究会費	100,000	100,000	0	
	画像研究会費	100,000	100,000	0	
	医療情報システム研究会費	100,000	100,000	0	
	CT 研究会費	100,000	100,000	0	
	乳房画像研究会費	100,000	100,000	0	
	放射線防護研究会費	100,000	100,000	0	
	放射線治療研究会費	100,000	100,000	0	
	超音波画像研究会費	100,000	100,000	0	
	アンギオ研究会費	100,000	100,000	0	
	学術委員会助成費	450,000	450,000	0	
	部会誌費	2,020,000	2,520,000	-500,000	
	原稿料	20,000	20,000	0	
	印刷製本費	1,600,000	2,000,000	-400,000	

	通信運搬費	400,000	500,000	-100,000	
	業務委託費	0	0	0	
	諸委員会費	40,000	40,000	0	
	編集委員会費	10,000	10,000	0	
	部会開催委員会費	10,000	10,000	0	
	財務委員会費	10,000	10,000	0	
	表彰委員会費	10,000	10,000	0	
	雑 費	150,000	10,000	140,000	
	事業雑費	150,000	10,000	140,000	
	2. 管理費	2,527,000	2,377,000	150,000	
	人件費	500,000	500,000	0	
	臨時雇用費	500,000	500,000	0	
	臨時雇用者用通勤交通費	0	0	0	
	会議費	160,000	110,000	50,000	
	部会理事会費	80,000	50,000	30,000	
	部会総務委員会費	80,000	60,000	20,000	
	旅費交通費	1,000,000	950,000	50,000	
	部会役員旅費	150,000	100,000	50,000	
	理事会交通費	500,000	500,000	0	
	総務委員会交通費	300,000	300,000	0	
	選挙管理委員会交通費	50,000	50,000	0	
	需要費	367,000	367,000	0	
	通信費	50,000	50,000	0	
	消耗什器備品費	0	0	0	
	消耗品費	200,000	200,000	0	
	印刷費	50,000	50,000	0	
	電話料	50,000	50,000	0	
	振替貯金払込料	10,000	10,000	0	
	送金手数料	7,000	7,000	0	

	諸設備費	300,000	300,000	0	
	リース料	250,000	250,000	0	
	修繕費	50,000	50,000	0	
	雑費	200,000	150,000	50,000	
	交際費	100,000	50,000	50,000	
	管理雑費	100,000	100,000	0	
	3. 予備費	0	0	0	
	予備費	0	0	0	
	当期支出合計 (C)	8,462,000	7,962,000	500,000	
	当期収支差額 (A) - (C)	-500,000	0	-500,000	
	次期繰越収支差額 (B) - (C)	8,484,035	8,410,048	73,987	



研究会のご案内

中部部会 CT 研究会

CT 研究の最前線報告会のお知らせ

東海ブロック世話人代表 辻岡勝美

中部部会CT研究会では「CT研究の最前線報告会」と題して講演会を開催します。この講演会は4月に横浜で開催された第63回日本放射線技術学会総会の研究発表から、特に興味ある演題について講演をしていただくもので、CT研究の最先端を知ることができます。講演時間も総会発表の7分ではなく30分程度とし、研究背景から考察まで詳細な講演をしていただきます。総会に参加されなかった方、参加したがさらに詳しく知りたい方、最新のCT技術に興味のある方、興味のない方、是非とも皆様の参加をお待ちしています。

日時：平成19年6月2日(土)14:00~18:30

場所：エーザイ株式会社東海サポートセンター

6階ホール(名古屋市地下鉄高岳駅の北)

内容：

第一部 14:00~14:40

1. 第63回日本放射線技術学会総会におけるCT発表の動向

藤田保健衛生大学衛生学部 辻岡勝美

2. 肝臓ダイナミックCTにおける至適造影法
エーザイ株式会社 市川 篤

第二部 メーカー発表 14:40~16:20

第三部 会員発表 16:30~18:30

第63回日本放射線技術学会総会の研究発表から、特に興味ある数演題を予定しています。(現在交渉中です)

【問合せ先】 〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-9-8

藤田保健衛生大学衛生学部診療放射線技術学科

辻岡勝美

E-mail tsujioka@fujita-hu.ac.jp

Tel & Fax : 0562-93-9424

共催：日本放射線技術学会中部部会CT研究会

エーザイ株式会社

中部部会放射線防護研究会

代表世話人 鈴木昇一

放射線防護研究会は、現在まで医療に関する安全管理を取り扱ってきました。今回、自然放射線、環境放射線についての研究を精力的に行っています。前保健物理学会長で藤田保健衛生大学の下道國教授に、環境放射線と人体に対する影響について、低線量及び低線量率被ばくの人体に対する身体的、遺伝的影響の概論をお話ししていただきます。

更に、環境放射線の線量評価について、測定法、測定結果を大学院2年の山田純也氏に講演していただきます。

医療のような人工放射線による影響については多くの報告がありますが、環境放射線についての教育講演などは行っていませんでした。放射線安全を考える際に、環境放射線の身体影響は避けては通れません。さらに、実際の測定について、興味あるお話が聞けることと思います。下記のように研究会を行います。事前登録など

一切ありません。自然放射線に興味ある方、多くの会員の参加を期待しております。

教育講演 1：環境放射線と人体影響概論

講演者：藤田保健衛生大学衛生学部
診療放射線技術学科学科長 下道國 教授

教育講演 2：環境放射線の測定

講演者：藤田保健衛生大学大学院
保健学研究科放射線管理学専攻 山田純也氏

日時：平成 19 年 6 月 2 日（土曜日）

午後 2:00～4:30

場所：藤田保健衛生大学衛生学部 5 号館
4 階教室

住所：愛知県豊明市沓掛町田楽が窪 1-98

連絡先：0562-93-2548（鈴木昇一直通）

メール：ssuzuki@fujita-hu.ac.jp

第 32 回画像研究会 デジタルマンモグラフィ画像処理セミナー

第 1 回

「デジタルマンモグラフィにおける階調処理」

乳房 X 線画像においてもデジタル化が進んでおり画像処理を理解することはより良い画像を提供する為に重要となります。画像研究会は今後、初学者を対象としたデジタルマンモグラフィのセミナーを実習形式にてシリーズで開催していきます。今回はデジタルシステムにおいて重要であり基本となる「階調処理」について行います。実習形式であるため人数に制限がありますので、事前受付形式にて行います。

日時：平成 19 年 6 月 30 日（土）

14 時 00 分 ～ 18 時 00 分

会場：金沢大学医学部保健学部 4 号館 2 階 4202

* バス 11 東部ヤ庫行き（橋場町経由）小立野下車

内 容

1. 「解説」
デジタルマンモグラフィにおける階調処理
2. 「演習」
フリーソフト（Image J）と EXCEL を用いた画像処理の実習

募集人数：20 名

申込者多数の場合、地域・施設等を考慮し選択いたしますのでご了承ください。

受講対象者：デジタル画像の初学者。

受講時にノート PC（OS は Windows XP）を持参可能な方。

Windows ME では Image J で画像が開けません。

締 切：平成 19 年 5 月 31 日（木）

申込み先：E-Mail raryo@med.nagoya-cu.ac.jp
に下記事項を記入の上お申込みください。

Subject[件名]に「画像研究会参加申込み」とご記入ください。なお、電話での受付はいたしません。

記 入 事 項：氏名、所属、連絡先「電話、E-Mail アドレス」を本文に記入して下さい。

*E-Mail アドレスは正確に記入して下さい。

*6 月 8 日までに申し込まれた方全員に参加の可否のメールを返信します。返信がない場合は再度下記まで問合せをして下さい。

問合せ先：名古屋市立大学病院 東出まで

E-mail：raryo@med.nagoya-cu.ac.jp

中部部会 第8回 CT 立山セミナー

中部部会 CT 研究会

昨年は会場を立山弥陀ヶ原から山麓の粟巣野に変更しましたが、緑ゆたかな大自然と会場の天然温泉を満喫していただき、大変好評でした。今年もこの会場にて「脳卒中 - 急性期脳梗塞の CT/MR の撮像技術を中心に - 」をテーマに開催します。今回は CT の撮像技術のみならず、この分野では欠かせない MR の撮像技術についても講演していただき、脳卒中における CT/MR 撮像法のスキル UP と SCU (Stroke Care Unit) の現状報告などから、急性期脳梗塞の CT 撮像ガイドラインを検証したいと思います。今回は自由時間も多く設けましたので、立山山麓の新鮮な空気と会場にある温泉やプール、多目的広場でのリフレッシュもあわせていかがですか？どうぞ普段着でお越しください。

日 時： 平成 19 年 7 月 28 日(土)、29 日(日)

会 場： 富山厚生年金休暇センター

「ウエルサンピア立山」

電話番号：TEL 076-481-1126

集合場所：JR 富山駅北口 12:00 (富山駅から会場まで送迎バス運行)

自家用車の場合は会場へ 12:30 までにお越しください。

* 集合場所は申込時に必ず明記してください。

募集人数： 30 名

参加費： 15,000 円 (宿泊費, 食事代 2 食分, 資料代含む)

申込締切： 平成 19 年 7 月 10 日 (土)

申込先： e-mail chubu_ct@hotmail.com

(全て電子メールでお申込みください)

申込時に参加希望者の所属、氏名、連絡先、本人宛の電子メールアドレス、集合場所を明記してください。

(富山大学附属病院 放射線部 伊藤 一宛)

問合せ： 中部部会 CT 研究会事務局

TEL 076-265-2000 FAX 076-234-4311

金沢大学医学部附属病院 放射線部

松原孝祐

テーマ

「脳卒中 - 急性期脳梗塞の CT/MR の撮像技術を中心に - 」

[1 日目]

技術講演 1 13:30 ~ 14:20

「脳卒中における MDCT および CT Perfusion の撮像技術」

藤田保健衛生大学付属病院 吉見 聡先生
技術講演 2 14:20 ~ 14:50

「脳卒中における MRI の撮像技術」

福井大学医学部附属病院 藤原康博先生
休憩 14:50 ~ 15:10

講演 1 15:10 ~ 16:00

「SCU の現状」

福井赤十字病院 安藤剛一先生

富山済生会病院 松井幹夫先生

討 論 16:00 ~ 16:45

「急性期脳梗塞の CT 撮像ガイドラインと MRI への対応」

自由時間および夕食 16:45 ~ 20:00

講演 2 20:00 ~ 20:45

「カラー表示による early CT sign」

金沢大学大学院医学系研究科 市川勝弘先生

実践講座（自由参加） 20：45～21：30
「early CT sign の読影に挑戦」

事務局からのお知らせ

[2 日 目]

学位取得記念講演 8：30～9：30
花井耕造先生
各装置メーカーからの最新トピックス
9：40～11：20
解散 11：30

一昨年度より事務業務の簡略化、経費の節減と共に、学術集会、研究会の充実を図るべく会員広報誌ビーム中部の紙媒体郵送による配布を基本的に廃止いたしました。各種学会手続きの電子化の普及、情報の即時性などの観点から、ホームページからのダウンロードによる配信を基本としております。

ただ、身近にインターネット環境が整備されていない会員の方に対して、希望者にはビーム中部の郵送の継続申込によって、郵送配布を継続しておりました。一昨年度に引き続き郵送配布希望の方は改めて本紙同封の葉書にて6月末までに事務局にお申ください。（郵送は発行日より1週間程度遅れます）

中部部会事務局の連絡先

〒920-0942 金沢市小立野 5-11-80

金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻内
（社）日本放射線技術学会中部部会

TEL・FAX 076-265-2541

E-mail jsrttb@met.nagoya-u.ac.jp

中部部会ホームページ

<http://jsrttb.met.nagoya-u.ac.jp/>

会員情報の変更は技術学会本部のホームページ
(<http://www.jsrt.or.jp/>)の入会案内からお願い
します。

(社)日本放射線技術学会中部部会

ビーム中部 2007年第1号

発行：東村享治

編集：小山修司，石田智一